

当センターからのお知らせ

昭和63年度事業成果の概要

昭和63年度は、センター設立2年目を迎え、組織・体制の充実をはかりつつ、昭和62年に引続き水辺空間整備事例の収集・整理をはじめとして、水辺空間利用の動向、あり方等の検討、水辺空間の施設整備に係わる技術的な手法の研究開発等に重点的に取り組んできました。また、それらと併せて国、地方公共団体等から、委託を受けて技術協力を行うとともに、データベースの充実をはかってきました。また、当センターの事業の紹介等をはじめとして、一般への広報・普及啓蒙活動に積極的に取り組んで来ました。特に一周年を期して、シンポジウムの開催と、月刊誌「フロント」を発刊し、我が国における水辺空間整備の正しい認識を高めることと、整備の促進を訴えました。

なお、業務の実施状況は、次のとおりです。

項目	昭和62年度件数	昭和63年度件数	摘要
高規格堤(スーパー堤防)・超過洪水対策に係わる水辺空間整備に関する調査・研究・技術開発	7	9	
流水保全水路・水質浄化対策に関する調査研究・技術開発	4	2	
ふるさとの川モデル事業、マイタウン・マイリバー事業等の水辺空間整備に関する調査研究・技術開発	18	65	
海岸・河口・港湾に係わる水辺空間整備に関する調査研究・技術開発	11	12	
地域開発と水辺空間整備の調和に関する調査研究	7	20	
水辺空間整備に係わる内外の先進事例に関する調査研究	5	10	
その他の水辺空間整備に関する調査研究・技術開発	11	30	
水辺空間に関する広報・普及啓蒙	4	13	
国際協力	1	4	
計	68	165	

平成元年の新年度を迎え、職員も38人と増加し、我々センター職員一同、新しい気持ちで実務に精勤する覚悟でありますので、皆様方の御指導をよろしくお願い致します。

宝くじ助成事業による水辺空間整備に関する広報活動事業

宝くじ助成事業による水辺空間整備に関する広報活動事業は、水辺空間の整備が本格的に展開するようになってから日も浅く、また水辺空間整備の活発な展開を図るため、事業への理解・効果・必要性等の情報を広く一般の方々に提供するとともに、宝くじ事業の公益性の普及宣伝することを目的としている。

宝くじの助成金は、財団法人日本宝くじ協会より昭和62年度から受けており、昭和63年度は5千万円の助成金を受け以下の事業を実施した。

- ① アメニティ・リバーフロント施設を三面川(村上市)ブロンズ像、新方川(越谷市)時計塔、生田川(神戸市)ふれあいの泉の3箇所に設置
- ② パンフレット「水辺の小品」の作成
- ③ リバーガイドマップを利根川、荒川、多摩川、相模

川、那珂川、富士川の関東ブロックの6河川について作成

- ④ ポスターの作成
- ⑤ カレンダーの作成
- ⑥ 水辺空間整備の実施例集の作成
- ⑦ 水辺空間整備に関する調査研究集の作成

本年度も、財団法人日本宝くじ協会から5千万円の助成金を受け、水辺空間整備に関する広報活動事業を実施する予定であり、特にアメニティ・リバーフロント施設は、水辺空間の景観等にマッチしたモニュメント的な施設を設置するもので、設置後には当センターから地方自治体に寄贈することとしている。

詳細は業務部におたずね下さい。



三面川(村上市)青砥武平次像



新方川(越谷市)時計塔



生田川(神戸市)ふれあいの泉